

因果推論は、原因と結果の関係性を探求する統計分析の手法の総称で、現在ではデータ分析の基本枠組みの一つとなっている。因果推論における重要なステップは、(1) 推定したい量（知りたいことは記述、予測、因果推論のどれか、及び特定の集団での効果）を特定し、(2) その量を特定するために必要な仮定（positivity, consistency, exchangeability）を検討し、(3) それに基づいてデータ分析を実施することである。これらのステップを無視して因果関係を主張すると、「因果警察」による摘発を受けうる。

本コースでは、因果推論の初心者を対象に、(1) と (2) に関する理解を深めることを目的としている。以下のような方には特に参加をお勧めする。

- ・自身の研究が予測か因果関係の特定かわからない
- ・因果関係を特定するための仮定を知らない
- ・適切な調整変数とその選択方法がわからない
- ・DAG について学びたい